



申2号

「2025年3月ダイヤ改正」検証に関する

申し入れ提出！

2025年ダイヤ改正では安全・安定輸送を確保することを前提に、今後も持続的な成長を続けることができるJR東日本グループを創りあげることが目的として、ダイヤ改正及び運用改定が行われ、効率的で生産性の高い業務執行体制とするため管理体制の見直しが実施されました。2024年度申5号交渉において労使議論を行いました。現場では効率化の追求により個々の負担増や要員不足による休日出勤が絶えず、社員が十分な休養を取れず疲弊している状況が多く見受けられています。また混雑による遅発整理や積み残しが発生し、利便性の低下や宿泊施設の老朽化など課題改善が見られない状況だと言わざるを得ません。効率化を重視し社員の声を置き去りにしては、究極の安全や利用者の移動を支え地域社会の活性化に応えることの実現は成し得ません。公共交通としての使命を全うするため、安全を大前提に労働環境の改善や特殊性のある乗務労働の価値向上を図り、現場で働く社員が働きがいや生きがいを実感し、安心して働ける職場の実現に向けて以下の通り申し入れを行い交渉に臨みます。

申し入れ事項

【基本】

1. 2025年ダイヤ改正における成果と課題を明らかにすること。
2. 2024年度申5号の議論に基づき、ダイヤ改正提案資料における手交資料を、クロス・ダイヤ・箱ダイヤの3点を手交すること。
3. 各乗務員職場の標準数及び現在員数ならびに休日出勤状況を明らかにし、休日労働削減に向けた取り組みを明らかにするとともに適正な要員を配置すること。
4. 車両の検査周期や修繕が十分に行われている根拠を明らかにし、安全管理体制を再確立すること。
5. 乗務員詰所に対する基本的な考え方を明らかにするとともに、乗務の中断時間が次の乗務に向けて心身を休める時間となるような整備をすること。
6. 乗務員宿泊所の老朽化に関する考え方を明らかにするとともに、現在使用している乗務員宿泊所の使用年数及び施設更新の計画を示すこと。

【箇所別】

横浜統括センター乗務ユニット

(車掌)

1. 安全・健康を考慮し食事を目的とした乗務の中断時間を見直すこと。 平平512行路



2. 安全・健康を考慮し睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。 平平513行路・平平519行路・休休513行路

町田統括センター橋本オフィス

(運転士)

3. 安全・健康を考慮し食事を目的とした乗務の中断時間を見直すこと。

平日5行路・平日6行路・平日9行路・平日19行路・平平27行路・平平33行路

休日3行路・休日13行路・休休22行路・休休28行路

4. 安全・健康を考慮し乗務の中断時間を見直すこと。 平日8行路

5. 安全・健康を考慮し睡眠を目的とした乗務の中断時間を見直すこと。 平平33行路・休平30行路

6. 安全・健康を考慮し長時間乗務を解消すること。 休休23行路・休平26行路・休休43行路

7. 安全・健康を考慮し出勤時間を見直すこと。 平日12行路

8. 安全・健康を考慮し十分な在宅休養時間を確保すること。

平日18行路・平日19行路・平日20行路・休日10行路・休日11行路・休日12行路

(車掌)

9. 安全・健康を考慮し拘束時間を短縮すること。 平日115行路

10. 安全・健康を考慮し睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。

平平130行路・平平137行路・平平140行路・休休132行路・休平132行路

休平137行路・休平140行路

桜木町統括センター乗務ユニット

(共通)

11. 磯子乗務員宿泊所の建替えを行うこと。

12. 本郷台乗務員宿泊所の建替えを行うこと。

13. 南浦和駅南行詰所の洗面台をお湯が使えるように整備すること。

14. 安全上の観点から東十条引上1番線ならびに2番線の昇降台は撤去せずに移設して整備すること。

15. 混雑による「延発整理」が発生しているので、夕方のラッシュ帯の北行ならびに南行の列車を増発すること。

16. b速からd速への移り変わりを北行は蒲田場面 1646Aと1722Bの間で、南行は蒲田場面 1527Bと1539Aの間で設定すること。

17. 深夜・早朝帯における運転整理の考え方を明らかにするとともに、特に深夜帯における運転整理は乗務員の泊地変更が発生する恐れがあるので継続乗務とならないように配慮すること。なお、泊地変更が発生した場合は翌日の勤務等への配慮を行うこと。



18. 各駅での折り返し時間を6分以上確保すること。
19. 「引上～据付」の列車は最低でも着発12分以上を確保するダイヤ設定とすること。
20. 分割親行路と分割子行路の始業ならびに終業時刻、「その他時間」の設定時間をクロス上示すこと。

(運転士)

21. 安全・健康を考慮し食事を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。 平日418行路
22. 安全・健康を考慮し睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。 平日418行路
23. 安全・健康を考慮し行先地時間の平準化を図ること。 休日418行路・休休425行路・休休426行路

(車掌)

24. 生活環境に考慮し退勤時間を見直すこと。 平日323行路

湘南・相模統括センター国府津乗務ユニット

(車掌)

25. お客さまに安心してご利用いただけるよう、3074M及び3084Mを車掌2人乗務とすること。

小田原伊豆統括センター熱海事務所

(車掌)

26. 熱海駅上り1番線に乗務員詰所を新設すること。

乗務員は

人のいのちをお預かりする重要な使命がある！

安全で安心して働ける労働環境を強く求める！